ブリッジインターナショナル株式会社

サービス業 ｜ グロース（内国株式） ｜ 決算期 12月末日 ｜ …

証券コード 7039

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

経営方針

B2B企業の売上成長に向けた改革を支援するEnd to Endのサービスを提供

既存顧客売上比率
9割以上

2 中長期の経営戦略

1. インサイドセールスアウトソーシング事…

高品質で安定したサービス提供による既存顧客維持拡大。外資IT・国内IT・通信・金融業界を注力業界として大型新規顧客獲得に注力

2. プロセス・テクノロジー事業

営業DXを支援するコンサルティング。AIをはじめとする最新テクノロジーを活かした営業支援を構築から運用までワンストップで提供

3. 研修事業

エンジニア人材育成の従来領域維持拡大。経済産業省推奨のリスキリング対応で非エンジニア人材向けコンテンツを強化

3 対処すべき課題

① 収益基盤の拡大

・既存顧客との取引拡大と新規顧客獲得に注力
・社内業務デジタル化とグループリソース共有で固定費削減
・営業生産性最大化と人材育成の強化

② 安定的な人材確保

・人材獲得競争激化への対応として新卒・中途採用強化継続
・AI活用による業務効率化と未経験人材の早期戦力化

③ ITネットワークの安全性確保

・顧客社数増加・就業スタイル変化に対応したサーバー増設等設備投資
・強固で効率的なITシステム稼働環境の構築

面接で使えるポイント

・生成AIをはじめとする新しいテクノロジーと人材の融合により営業高度化を支援するのが強み
・インサイドセールスアウトソーシング事業で既存顧客が売上の9割以上を占め高い継続率を誇る
・外資IT・国内IT・通信・金融業界を注力業界として大型新規顧客獲得に取り組んでいる

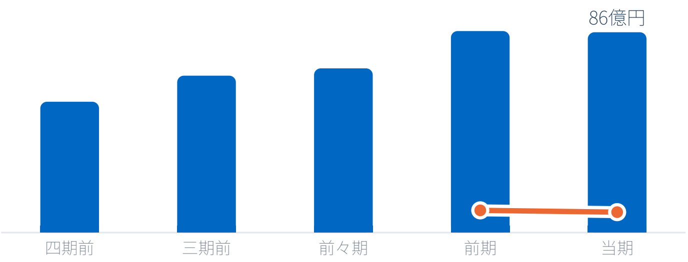
出典: 金融庁EDINET 有価証券報告書「経営方針、経営環境及び対処すべき課題等」（書類ID S100XV70）
原文を生成AI（claude-haiku-4-5-20251001）が要約・再構成したものです。正確な内容は原文をご確認ください。

ブリッジインターナショナル株式会社

サービス業 ｜ グロース（内国株式） ｜ 決算期 12月末日 ｜ …

証券コード 7039

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高	営業利益率	財務健康度
86億円	10.2%	83点 ／100点

将来性 曇り時々雨 ／ 就活偏差値 38.1（当サイト算出の参考指標）

要するに

B2B企業の売上成長改革を支援するサービス企業

主力事業・セグメント

- InsideSalesOutso 54.1%
- Training 27.8%
- Processテクノロジー 18.1%

強み・特徴（公開データから）

- 営業利益率10.2%の安定した収益性
- 財務健康度83点と財務基盤が健全

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

平均年収	平均年齢	平均勤続	女性管理職	男性育休
396万円	37.3歳	6.7年	26.9%	0.0%
サービス業内 506位/524社	サービス業内 305位/527社	サービス業内 258位/527社	サービス業内 111位/371社	サービス業内 303位/311社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース＋一言